

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カ フォスカリ 大学 (イタリア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	linguaculture		
報告書提出日	2019年2月20日		
留学予定期間	2019年2月～2019年6月		

## 1. 渡航について

### 1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 約7万 (円) /合計

航空券代： 約10万 (円) /合計

ビザ申請関連費： 日本でビザ申請時は無料

(イタリア到着後に滞在許可証作成に計1万5千円程) /合計

その他 ( )： (通貨入力) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？70万円 (通貨入力) /合計

70万円程の残高で問題ありませんでした。

申請時に奨学金を貰っていることが分かる書類も出しました。

神奈川大学から渡される Scholarship Certificate を出せば大丈夫だと思います。

### 1.2. 渡航について

エアロフロートで行ったため、モスクワ乗り換えでベネチア マルコポーロ空港に着きました。

この便は夜遅くに着きます (22時すぎ)

なので海外に慣れている人以外は少し問題があるかもしれません。

## 2. 到着後の手続きについて

### 2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

私の場合は寮の入寮日が2月3日でした。

ですが、WelcomeDay という留学生向けのイベント、集まりが2月1日からでしたので、到着後から入寮日までは、Santa Lucia 駅近くのホテルに泊まっていました。

ホステルに宿泊している他大学の日本人もいました。

寮の鍵は入寮日に寮の受付でもらえます。

## 2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

2週間ほどは問題ありません。

私の場合は到着後に時間があつたので個人的にサイトを使いながら、滞在許可の申請をしましたが、留学生用に一緒に滞在許可証をつくる集まりがあります。Welcome Dayで説明され、同日にメールで伝えられます。南米や、北米、トルコ、アジアの留学生も多いので、大学もそういったセッションを用意してくれています。なので全く焦る必要はないです。

## 2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションでは留学生や、日本語学科の学生と簡単に友達になれます。英語が分かれば何も問題はないです。全て分かりやすいです。

## 3. 目標について

### 3.1. 留学の目的、達成目標

経営学部外の科目を積極的に取り、幅広い学問を様々な視点から学ぶ。

また、人々との交流や日々の生活からイタリアや他国の文化を学び、新たな考えを得る。

そして、イタリア語コースは取らないが、イタリア語も学習し、5月までにはイタリア語で会話ができるようにする。

### 3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

経営学部内にはない外国語や、心理学、教育、ヨーロッパ史、イタリアの歴史、などのコースを受講しているので、少し難しい部分もあるが、自分の可能性を広げるためにどの科目にも精いっぱい取り組む。

### 3.3. 今月の学習・研修目標

まずは授業内の話を完全に理解し、クラス内で意見などを2、3回は堂々と言えるように、授業後に各科目2時間は復習をする。また、授業内の話をより理解するために、ボイスメモを使い講義を録音する。

## 4. 学修について

### 4.1. 授業時間割

現在の学期	2学期
月	Psychological Aspects of Language Education (1時間半)
火	Introduction to Amharic and Ethiopian Culture (1時間半)
水	Sociology And Politics (2時間半)
木	Microeconomics (2時間)
	Sociology And Politics (2時間半)
	Storia Del Viaggio EDel Turismo SP (2時間半 一週 合計5時間)
金	SIE/ Italian Culture and Made in Italy. (2時間半)
	Storia Del Viaggio E Del TURISMO SP (2時間半 一週 合計5時間)

土	
日	

#### 4.2. 授業について

##### Psychological Aspects of Language Education

言語、外国語をどのように生徒や人々に教えればよいのかを教育心理学のメソッドを使いながら考える。大学院の授業。先生を目指す人向けの内容。（イギリス人の講師の英語）

##### Introduction to Amharic and Ethiopian Culture

エチオピアの文化とその言語についてゼロから学習します。小さなクラスですが内容は素晴らしく、生徒の意識も大変高いです。（英語です） 外国語学部の授業なので日本語を取っていた人もおり、授業後に一緒に勉強したりもします。

##### SIE/ Italian Culture and Made in Italy.

総合的にイタリアの文化を学びます。

講師がアメリカの大学でこのような内容を長年教えていた方なので、英語も聞き取りやすいうえに、内容が大変魅力的です。ドラマ、音楽、歴史、芸術、産業、食。多くのマテリアルを説明してくれるため授業がとても楽しいです。そのせいかかなり人気があり多くの生徒がいます。

また、SIE は皆留学生なのですぐに仲良くなれます。

こうした他の留学生との関りを持つためにも SIE の授業を取りました。

##### Sociology And Politics

政治社会学の授業です。4月半ばから授業が始まります。

（英語です）discussione が多く行われるようです。

##### Microeconomics 1

マクロ経済の大学 degree 1,2年生の内容です。おさらいの意味を込めて取っています。

ただ、習っていない内容も範囲なので大変そうですが、教科書も買えますし、寮に優秀な人がたくさんいるので助けてもらえます。（英語です）

##### Storia Del Viaggio EDel Turismo SP

旅行の歴史。旅行といっても近年の旅行ではなく、16, 17、世紀ごろからの旅行に対する考えや歴史を学びます。航海していた人や、哲学者が多く出てくるので勉強が難しいです。

更に先生がフランス人で資料などもフランスのものが多く、英訳をくれますが理解に時間がかかります。ただ、小人数なのでいいです。（英語です）

#### 4.3. 予習・復習・自習について

どの科目もしっかりノート、プリントなどを見て予習、復習をします。

資料はどの授業もカファスカリ大学のネット（Moodle Ca Foscari）

にアップロードされるのでそれを確認しています。

友人に飲みを誘われたり、でかける予定がない日は夜8時くらいから11時半くらいまで図書館で勉強しています。

困ったときは先生に聞いたり、Youtube上のどこかの先生の授業を検索して勉強するつもりです。

## 5. 生活について

### 5.1. 衣食住について

住居	学外寮 (その他: Residenza Universita Junghans)
----	--

この Junghans という寮が悪いというネットの評判は無視するべきです。

神奈川大学や日本の他大学の報告書に悪評判ばかり載っていましたが、本当に過ごしやすいです。

この寮についてですが、まず部屋が広く綺麗です。大きな引き出し付きの横長い勉強机にクローゼット、洋服掛け、ベッドサイドテーブル、ランプ2つ、衣装入れテーブル、バスタオルタオルハンガー、などがあり、どれも十分すぎる程です。シャワーはシャワーボックスで、水圧もよく、夜中や早朝でもいつでも熱いくらいのお湯が出せます。洗面所も便利な収納付きでランプもオシャレです。寮はジューデッカ島にあります。イメージができないと思いますが、島といってもベネチアまで船で3分です。(最寄り Giudecca Palanca-Zattere ベネチア本島の最寄り)、(Giudecca-Santa Lucia 駅は15分) 船は毎7, 8分できます。22時以降の夜は間隔があきますがせいぜい15~20分おきに來ます。Che Bateo という検索アプリで船の時間を簡単に検索できます。基本的に1分の遅れもありません。船は24時間動いています。

寮生は皆とても優しく、奨学金生ばかりなので、優秀な人が多く静かですごくいいです。

光熱費はいくら使っても同じ値段です。330ユーロ(一人部屋300€+水道、電気30€)でここまで綺麗で広い一人部屋は本当に素晴らしいと思います。探せばわかりますがこんな好条件はベネチア本島エリアではあまり見つけられません。(メストレにはありますがこの寮の方が綺麗です。また、現実的な悲しい話ですがシェアハウスやそのような値段の部屋やアパートはイタリア人やEU圏内の学生が基本優先ですので、アジア人の私たちには少し難しいです)スーパー、コープも寮のすぐ近くにあります。(値段が高いなどは基本感じません)パスタの国なのでパスタ、パスタソース、リゾット系はとて安く買えます。

### 5.2. 課外活動について

ヴェネツィア観光、(Venezia Unica Museum Pass 6 months.)

他都市観光、ドラゴンボート、カヤック、パーティー、勉強。

### 5.3. 現在までの感想

大学の建物までは船ですぐ行けます。(大学の建物はベネチア本島に20ほどあります。経済、経営はサンタルチア駅の横。あとは基本ベネチア本島の真ん中あたりから Zattere-S. Basilio 沿い) 船に乗ると無駄に歩かなくてよく大変楽です。更に24時まで開いている大学の大きな図書館までもすぐです。

(図書館は4つもあります)そこには勿論wifiがあります。報告書に大学にWIFIがない、WIFIが見つからないと書いている学生がいましたが、しっかり登録すれば基本どこでもスムーズに機能します。

Eduroam というWIFIは良好です。寮にWIFIはありませんが、月10ユーロでインターネットに差し込めるWIFI USBが貰えます。ですがほぼ誰も借りていないらしいです。

それと、料理が出来なくて不便だ!という意見も報告書等にありますが、その通りで部屋での調理は

ESU（管理会社）のルールで禁止されています。ですが、正直に言うと、料理は部屋で作れます。多くの現地生徒は部屋で電気コンロなどを使いご飯を作っています。私も毎日パスタやリゾット、スープを楽しんでいます。暗黙の了解で部屋での料理が認められています。（受付の管理人とそこでアルバイトをしている同大学の学生も、火災を起さなければ何も問題ない。日本人は真面目過ぎてしていると笑って話してくれました。）また、寮内には1箇所だけではありますがキッチンもあり、そこでは堂々とご飯を作れます。

大きな冷蔵庫も何台もあり、自分の食べ物をタッパーなどに入れてしまっておけます。（誰も盗みません）それが嫌だったり、面倒な場合は、調理済み食品（2～4ユーロ）をスーパーで買って寮の電子レンジで温めて食べたり、4.5ユーロでご飯を食堂で食べれます。（ESUの個人情報登録後、Welcomedayで説明されます）その他にも安く食べれるレストランもジュデッカ島、寮の近くに複数あります。洗濯は寮内のランドリールームでします。洗濯機、乾燥機5台ずつ。40分と50分。各1ユーロ。

10日分程の洋服をいれてもしっかりと全部乾きます。

治安についてですが、ジュデッカ島は景色もよく、主に富裕層の現地イタリア人が住んでいる島のため、ベネチア本島と同じく一日中治安がいいです。（日本よりも平和）

イタリア本土メストレに複数回行きましたが、幻滅しました。治安がとても悪いです。確実に女の子は夜は一人で歩けません。ベネチア本島と天地の差です。

メストレからの通学はバス、水上バス、いずれも本当に不便です。自信をもって次に行く学生にこのジュデッカ島 Junghans 寮の方が断然いいと伝えたいです。いずれにせよ、ビザ申請のプロセスで個人主等のアパートと契約をすると、英語での書類のやり取りがうまくいかないパターンが多らしく、大使館でよく却下されたり、やり直しを求められることがあるそうです。一方で寮の場合はそういった点は慣れているので、説明も分かりやすく、迅速な対応で書類などを洩れなくメール等で送ってくれますし、大使館の方も信頼してくれます。なのでメストレでもいいという方でも最初は Junghans 寮でいいと思います。ただ、Junghans は夏は現地生徒も帰省し、寮自体が観光客のホステルとして使われるため、留学生は部屋を追い出され、居場所が無くなり困ってしまうので、一年間この大学に行く方はいずれにせよ夏前までに、夏休み中の滞在場所を探す必要があり、それが引っ越しの多さにつながっているそうです。

以上

## 神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（4月）

所属	経営学部	国際経営学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	カ フォスカリ大学 (イタリア)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Linguaculture		
報告書提出日	2019年 4月 10日		

### 1. 目標について

#### 1.1. 留学の目的、達成目標

日々の生活や現地大学での授業を通して今まで知る事のなかった新しい発見・知識を得る。その為にも、私が専攻している経営学での授業だけでなく、様々な学部の授業に参加する。また、休日は外へ出かけてイタリア人と交流をする。

#### 1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

週に5時間の授業があった科目での期末テストの勉強、その課題（本を読み、その内容を発表、口頭質問に答える）に時間を使い過ぎてしまい、他の科目の学習が少し雑になってしまいました。今後は、事前にテスト範囲と期末課題を把握し、計画性を持ちながら全科目バランスよく学習したいです。

#### 1.3. 今月の学習・研修目標

現時点で85パーセント程は授業内容を理解できているので、残りの2カ月は100パーセント理解できるよう集中力を高めていきたいと思います。

### 2. 学修について

#### 2.1. 授業について

##### Psychological aspects of language education

授業内容がより実践的な内容になってきているため以前より理解しやすくなっています。また小グループでのディベートもあり、自分の意見を分かりやすく伝える努力をしています。また、授業のトピックにマレーシア BSAP 留学時に学んだ内容が出てきたこともあり、自信を持ってクラス内で発言ができました。

##### Sociology and Politics

4月から授業が始まったため詳しくは分かりませんが、ジェンダー論や環境論、政治など、様々なテー

マで社会学を学ぶという内容です。

今まで学ぶ機会がなかった科目なのでしっかりと授業に取り組みたいと思います。

### Italian Course

カフォスカリ大学が提携する語学センター、語学学校が提供するイタリア語の授業です。

一般人向けでもある有料コースな為カフォスカリ大学の単位は出ません。

残りの3ヵ月弱でイタリア語をしっかりと学びたいという思いで登録しました。

## 2.2. 予習・復習・自習について

### Psychological aspects of language education

オンラインでの課題をしっかりと完成できるように授業外での学習時間を増やしたいと思います。

### Sociology and Politics

パワーポイントのスライドを多く使用する先生なので、全てを事前にプリントし、大切な部分をマーカーでラインを引いていこうと思います。

### Italian Course

まずは授業内容を理解できるように、クラスで使用する教科書の内容を事前に学習して授業に参加しようと思います。

## 2.3. 語学力について

イタリアに来てから2か月間、イタリア語の授業に登録できなかった為、日本から持ってきた複数の本を使いながら自習をしてきました。また、イタリア人学生向けの日本語の授業に多く出席し、彼らが使う授業スライドや授業内翻訳課題などを見ながらもイタリア語を勉強してきました。勿論、自習だけでは分からない事が多くありました。ですが、幸いにもこうした環境から出来た数え切れないほどの日本語学科の友人に常に助けられてきました。

現状としては、リスニングに関しては2カ月にしては自分でも信じられない程にイタリア人が話す日常会話が自然と理解出来るようになりました。ですが、スピーキングは文法に自信が無い上に、男性名詞、女性名詞、人称等の入れ替え、言い回しが直ぐに頭にかばないため、会話の自然の流れでは殆ど話せません。

それは、私が日ごろイタリア人の友人（グループ）と行動していますが、彼らが私と話す時は簡単なイタリア語以外は日本語や英語で会話を振ってきてくれていた環境に甘えていたからだと思います。

ですので、今回4月から2カ月に400ユーロ（カフォスカリ大学の生徒は100ユーロ）という一般人向けのよりしっかりとした語学コースの授業に参加し、1から学び、最終的にはスピーキング力も0から70程に伸ばせるようにしたいと思います。

### 3. 生活について

#### 3.1. 衣食住について

住居※	学外寮（その他：寮 Giudecca Junghans）
<p>大変住みやすいです。</p> <p>この2カ月で同大学に通う多くのイタリア人友人宅に遊びに行きましたが、この寮ほど広くて安い部屋はありません。（一人部屋）</p> <p>これは、冷暖房、日当たり、水回り、家具、治安、大学、駅、図書館、観光地などへのアクセス等全てを考慮したうえで言い切れます。</p> <p>電気コンロを使いながら部屋で自炊も出来るため食費もそこまでかかりません。</p> <p>料理を作るのが面倒な時はピザを持ち帰ったり、食堂に行っています。</p>	

#### 3.2. 課外活動について

休日はベネチア観光、ドラゴンボート、サッカー観戦、他都市観光などを行っています。
--

#### 3.3. 現在までの感想

<p>先月は大学で出来た4人の友人の帰省に誘われ、彼らの友人宅にゲストとして数日間ホストしてもらいました。そのおかげで ベルガモ、ミラノ、トリエステ、フィレンツェをローカルな視点から観光する事が出来て嬉しかったです。一方で、そういった経験の中で、彼らの家族と会話をする際に自分のイタリア語の会話力の無さと英語でのコミュニケーションをしなければいけない状況を作っている自分に強い虚しさを感じました。</p> <p>ですので、残りの3ヵ月弱は、日々の大学での学習も真面目に取り組みながら、イタリアの文化、イタリア言語を学べるように、イタリアでしかできないことを沢山、全力で経験していきたいと思います。</p>
--

以上



## 神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	経営学部	学 科	国際経営学科	3 年次
派遣先大学 (国)	カフオスカリ大学 (イタリア)			
所属プログラム・ 学部・研究科	アジア・北アフリカ学科	履修言語	英語	
留学期間	2019年2月～2019年6月			
報告書提出日	2019年7月15日			

### 1. 学修について

#### 1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
Second Semester	2月3日 ～6月1日 (14週)	6月5日 ～7月10日	<p>特に何もありません。留学生は基本的にいつでも授業を変えられます。ですが、試験3日前までに大学の各自のパーソナルページから、テスト参加への登録をしなければなりません。大学で履修科目等に質問がある場合は、international office へメールするか、メインビルディングの international office へ直接質問しに行けます。</p> <p>基本的に留学渡航前に送る Learning Agreement は見ていないそうなので、自ら確かめに internationaloffice へ行くことをお勧めします。</p>

#### 1.2. 履修科目・内容

Second semester	Psychological Aspects of Language Education	18 時間 1.5(時間/回) ×1(回/週) ×12(週)	<p>講義が月曜日に90分 週1回</p> <p>内容は、言語心理学を使いながら、言語を如何に上手に生徒や人々に教えるかということです。</p> <p>テストはレポート課題と筆記試験です。</p> <p>イギリス人の講師が教えています。</p>
-----------------	---	---	--

Second semester	Italian Culture and Made in Italy	22.5 時間	イタリアの文化を学ぶ授業です。フィールドワークや映画観賞などをします。 中間テストや期末テストがありますが、授業に出ていればとても簡単に答えられます。また、留学生用の授業でもあるため、テスト中の携帯電話の使用が許可されています。(翻訳機能)
		2.5(時間/回) ×1(回/週) ×9(週)	
Second semester	StoriaDel Viaggio E Del Turismo SP	30 時間	13 世紀から近世にかけてのヨーロッパ諸国の航海や冒険の歴史を学びます。ベネチアの中世の歴史や産業等も学びます。 テストは口頭試験です。
		2.5(時間/回) ×2(回/週) ×6(週)	
Second semester	Sociology and Politics	35 時間	政治学と社会学を学びます。ほとんど毎回講師の方が来てお話をしてくれます。テストは筆記試験とレポートです。
		2.5(時間/回) ×2(回/週) ×7(週)	
Second semester	Italian Language A1	35 時間	イタリア語の授業です。テストは口頭と筆記、オンラインテストです。
		2.5(時間/回) ×2(回/週) ×7(週)	

### 1.3. 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

常に分からない事はノートにメモをし、授業後に確認していました。また、配られる資料や、次の授業に使われるプリントを2度は授業前に読むようにしていました。学習する上で心掛けていたことは常に真剣に取り組み、なるべくその場で授業内容を理解することでした。更には、テスト前は教授に勧められた本を読むようにしました。

### 1.4. 語学力について

留学前には何も分からなかったイタリア語が話せるようになりました。  
留学中は毎日日本から持参した単語帳を2時間近く読み込んでいました。また、イタリア人の友人らと毎日行動を共にしていたこともあり、リスニング能力が直ぐにつきました。  
英語に関しては留学生と話す時や、授業中しか使っていないので、出発前と特に変わらないと思います。

## 2. 留学の成果を振り返って

### 2.1. 学修の成果

日本で学んでいる経営学以外の分野を現地のイタリア人と一緒に学べたことは大変有意義であったと思います。特に、現地の友人と共に生活した事やイタリア語クラスへ参加したことにより、知識ゼロの状態であったイタリア語を簡単に習得出来た事が一番の成果だと思います。中でも、リスニング能力が大変高まり、現在では日常会話の殆どを無意識でも瞬時に理解出来るようになりました。学面で言うと、イタリアやヨーロッパの人々の動き、お金の動き、文化の動きなどのイタリア歴史を経済や経営の視点から学ぶことも出来ました。

### 2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

学習面の反省点は、授業時間や課題の多い科目を履修しなかったことです。また、課題が多い際は、現地のイタリア人学生と同じように、課題をやらなかったことが何回かあることです。学習面のアドバイスは特にありません。登録もなく、どの授業も受けられるので、ぜひ様々な授業に顔を出してみてください。日本語を話せる学生が多いため、日本語を話しすぎないようにして下さい。

### 2.3. 留学生活で得られたもの

異文化間コミュニケーションと行動力です。週末にはアプリを通じて自らが考えたベネチアの旅行プランを観光客へ提案しました。更には、授業にない日には私自身がガイドとなり、現地イタリア人友人らと協力しながら観光客を案内しました。その他にも、ベネチアの観光案内団体 **Venezia Unica** で日本語、英語とイタリア語を使ってボランティア活動をもしました。こういった経験から、何百人もの人々と出会い、交流していくうちに様々なことを学びました。

### 2.4. 留学生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学生活での反省点は特にありません。強いて言えば体重管理です。ピザやパスタを夜遅くに食べすぎてとても太ったからです。アドバイスとして言えることは、まず、とにかく留学を楽しんでください。簡単そうですがこれが一番難しいです。せっかくの留学ですから、思う存分に時間を有効活用してほしいです。ネガティブでいるとネガティブなことしか起こりません。とりあえず笑って明るくしてください。そのためには友人が必要不可欠です。幸運なことにベネチア大学には日本語学科があります。イタリア人学生は日本人にとっても会いたがっています。是非気軽に **San Basilio** (キャンパス) で行われている日本語学科の授業に参加してください。こんな私でもその方法で200人程と仲の良い友達になれましたので皆さんはもっと多くの友人が作れると思います。そうなれば毎日イタリア人と過ごすこととなり、イタリア語も瞬く間に上達しますし、辛いことなど何も感じません。一人で行くのが恥ずかしかったら、大学の **office** へ行き、日本語学科の先生のアドレスを聞くといいと思います。(日本人の先生方が7人ほどいます。日本人留学生がとても必要とされています)

また、日本語学科があることから、日本の数多くの大学と提携しています。そのため、日本人留学生が30人以上います。ですが、ベネチアに留学に来てまで他大学の日本人留学生と遊ばないほうがいいです。

もう一つ大事なことを伝えたいと思います。それは、人種差別です。残念なことです。イタリア人はアジア人をだいたい見下しています。特にベネチアでは、近年中国からのマナーの悪い観光客が多いことから、中国を嫌いな人が多いです。勿論、イタリア人は、私たちが日本人であるとは外見だけでは分かりません。基本的にアジア人は中国人と認識され、チネーゼ（イタリア語で中国、中国語）と言われます。具体的なことは書きませんが、もしアクティブな方であればきっと最低でも月に2回ほどは差別を受けます。ですが、そこでイタリアやイタリア人を嫌いになったり、恐怖心から外に出なくなったりするなどのことはやめた方がいいです。イタリアはアメリカやカナダ、その他のヨーロッパ先進国に比べると差別への理解度が少し低いです。これを頭に入れておいてください。また、実際に差別を受けた際は、現地の友人らに隠さず話してみてください。

## 派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年7月10日

所 属	経営学部 ( ) 研究科	国際経営学科・専攻	3 年次
派遣先大学	カフォスカリ大学		5 ヶ月間

### I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( Giudecca 島 Junghans )
2	住居形態の詳細を教えてください。	(シングルルーム)
3	入居時手続き	(Housing office へ渡航前にお金を2か月分デポジットとして払います。当日に受付で鍵をもらいます。)
4	費用(月額)	330(ユーロ)(食費含まない/月)
5	支払方法	毎月1週目に送られてくるメールのURLリンクからオンライン決済
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 (冷房はありません)
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ( )
8	周囲環境	(駅、大学、スーパー、サンマルコ、全てに対してアクセスがよいです。)
9	アクセス	(大学はベネチア中に24か所あるので何とも言えません。大学のホームページを見てください。本島までは船で2から3分。船はすぐに次から次へと決まります。24時間動いています。Che Batteo というベネチア市民用の船時間検索、乗換案内アプリをいれておくと便利です。)
10	留学中の住居に関してアドバイス	(寮に住むのであれば一人暮らしの方が楽です。Junghans は静かでも快適です)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入してください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ( )
12	詳細を教えてください	( )

## II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参しなかった
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	( Mestre Auchan というショッピングセンターの中にいくつもの携帯通信会社があります。そこで自分で会社を選んでください。私は ILIAD という通信会社で月50ギガの9ユーロでした。プロセスには、パスポートや、入学許可証等がいります。また、イタリアでの住所も問われます。このショッピングセンターには、寝具や食器、衣類も売っていますので是非行ってください。行き方は、ベネチア サンタルチア駅(Venezia Santa Lucia)から電車に乗り10分ほどの、Mestre Ospedale という駅で降ります。すると目の前にあります。 )
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (プロバイダは別途契約)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮への LAN 接続)

## III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	330 (ユーロ。以下全てユーロ) /月
2	食費	250 ( ) /月
3	交通費	25 (水上バスのマンスリーパス代 (発行、登録に最初50ユーロかかります。 Piazzale Roma の Venezia Unica にパスポート、入学許可書類等を持ち込む) /月
4	通信費	9 ( ) /月
5	娯楽費	300 ( ) /月
6	図書費	0 (コピーをするためには、現地到着後にもらう学生カードに図書館のマシーンでチャージします。プリペイド式) /合計
7	学用品 (教科書など)	30 ( ) /合計
8	被服費	0 ( ) /合計
9	医療費	0 ( ) /合計
10	雑費・その他	0 ( ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	660 (申し込む部屋の2か月分をデポジット) /合計
12	ビザ申請関連費	0 ( ) /合計

13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	500ユーロ (往復6万5千円ほど) /往復
14	その他	( ) /合計
15	留学全日程に要した総額(概算)	6000ユーロ (70万円程) /合計
<b>お金の持って行き方</b>		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金(渡航時:10万円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード(銀行名:三菱UFJ) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	お金に関するアドバイス	

#### IV. 保険・医療について

1	海外旅行(留学)保険の種類	L2 (5か月分で40万円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか?	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか?理由はなんですか?	特にありません

#### V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの バスタオル、イタリア語の単語帳とお土産用のお箸100善
2	現地で購入したもの ランニングシューズ、食器、ガスコンロ
3	(自分は持っていかなかったが)日本から持っていったら便利だと思ったもの サンダルと水着。テルマ、温泉やスパがあるため。また、ベネチア大学ではドラゴンボートなどの水上スポーツクラブがあるため。

#### VI. 留学先で困ったこと

寮が寒いので、Mestre Auchan へ行き、毛布等を購入しました(30ユーロ程)

#### VII. その他、後続の学生へのアドバイス

船に乗ることを嫌がるようではベネチアに住めません。歩く事、船に乗ることを純粋に楽しんでください。メストレとベネチアでは天と地の差があります。ベネチアは、学生が多く、お金持ちな観光客と裕福な住人しか住んでいないため、日本よりも安全です。  
ダウンロードしておく便利なアプリ、CheBateo, CaFoscari, hi!tide Venice, Trenitalia, Italo, Flixbus, HostelWorld, EasyJet, Ryanair, Goeuro, WhatsApp.

ためになるサイト、ESU Venenezia（食堂 QRcode 登録 4.5 ユーロでご飯が食べれます。）、webprint.unive.it（Ca Foscari プリント）ここでスマホやパソコンからオンラインプリント予約ができます。その後は、図書館等に行き、学生カードを機械にタップすると、所定項目を選択する事で、印刷できます。留学生用のイベントは ESN 会員になると参加できます。ESN の office は Zattere にあります。大学以外の図書館では、Biblioteca Nazionale Marciana, Fondazione Querini Stampalia がお勧めです。Venezia Unica で学生割引料金の 6 カ月有効の美術館パスも安く買えます。オペラは学割で 1 回 10 ユーロで観ることができます。とにかく日本語が話せる友人が欲しければ、San Basilio キャンパスや Zattere -の大学図書館へ行くことをお勧めします。Ca Foscarina という大学メインキャンパス前の大学 official store で大学の手提げかばん等を買えます。これらを身に着けていると、観光客でないと分かるためか大変優しく接してくれます。ジュデッカ島の寮付近にはコープがあり何でも買えます。Junghans 寮では電子コンロが暗黙の了解で使えます。ですので、一人部屋であれば、窓を開けて何時でも部屋で料理をすることができます。火災報知器等は鳴りません。また、ゲストは宿泊できません。